

安全データシート

1. 製品及び会社情報

Cat.No. : 516090
製品名 : Manganese LR 2
会社名 : セントラル科学株式会社
住所 : 〒104-0053 東京都中央区晴海 2-1-40 晴海プライムスクエア
担当部門 : 技術サポート部
電話番号 : (03) 3812-9186
FAX 番号 : (03) 3814-7538

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 健康有害性 急性毒性：吸入（粉塵及びミスト）：区分 3
皮膚腐食性/刺激性：区分 1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分 1
生殖毒性：区分 1A
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分 1（気道）

GHS ラベル要素：



危険

危険有害性情報：重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
吸入すると有害
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害（気道）

注意書き：

<安全対策>

適切な保護手袋および保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉塵／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

<応急措置>

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚（又は毛）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除く
こと。付着部は多量の流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
暴露又は曝露の懸念がある場合：医師の手当を受けること。
医師に連絡すること。
汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

<保管>

施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

<廃棄>

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理す
る。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
水酸化リチウム	10~20%	LiOH	1-712	1310-65-2

4. 応急処置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師の手当を受ける。意識のない場合、移動の際は安静を保つ。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除き、直ちに付着部を多量の水で洗い流す。必要に応じて、医師の手当を受ける。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分な場合、皮膚の障害を生じる恐れがある。
- 眼に入った場合： 直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。きれいな指で瞼を開いて洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： よく口をすすぎ、コップ 1, 2 杯の水を飲ませる。嘔吐させてはならない。直ちに医師の手当を受ける。
- 重要な徴候： 火傷
吸入した場合： 咳、呼吸困難、頭痛
飲み込んだ場合： 痛み、悪心、嘔吐、火傷、中枢神経系障害

5. 火災時の措置

- 消火剤： 周囲の状況に適した消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 水。水溶液は強アルカリ性の反応をする。可能ならば粉末消火剤を使用する。
- 火災時特有の危険有害性： 本製品は不燃性である。
火災時に有害なガスが発生するため、消火の際には適切な保護具を着用する（塩化水素（HCl）、酸化カリウム、酸化リチウム）。
- 特定の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。消火のための放水などにより環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
- 消火を行う者の保護： 消火活動は風上から行い、有害なガス又はミストの吸入を避ける。適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、蒸気を吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。汚染された排液が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・
機材： 飛散したものは掃き集めて、空容器に回収する。飛散した箇所は大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 取扱いは換気の良い場所で行う。局所排気施設内で使用する。使用の際は適切な保護具を着用する。取扱い後は手を洗浄する。本製品はアルカリ性なので、酸性物質との接触を避ける。本製品は吸湿性である。

- 注意事項： 開封や取扱う際に粗暴な扱いをしない。皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに蒸気、エアゾルを発生させない。使用中に飲食、喫煙をしてはならない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は手を洗淨する。
- 接触回避： 有機物、アルミニウム、亜鉛
- 安全取扱い注意事項： 吸入したり、目、皮膚および衣服に触れないように適切な保護具を着用する。使用の際は適切な換気を行う。

保管

- 適切な保管条件： 酸とは同一場所に保管しないこと。酸化剤、直射日光、湿気、水分を避ける。
密閉してなるべく涼しい乾燥した暗場所で保管する（20±5℃）。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに洗眼施設及び身体洗淨施設を設置する。
- 管理濃度： 設定されていない。
- 許容濃度
- ACGIH TLV (s)： 設定されていない。
- 日本産業衛生学会： 設定されていない。

保護具

- 呼吸器の保護具： 防塵マスク
- 手の保護具： 耐アルカリ性保護手袋
- 目の保護具： ゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態・形状： 固体・粒状
- 色： 白色
- 臭い： 無臭
- pH： 12.9 (11.7g/L) @20℃
- 融点： データなし
- 沸点（初留点）： データなし
- 引火点： 適用なし
- 燃焼性： 不燃性
- 燃焼又は爆発範囲
（上限・下限）： 不燃性
- 蒸気圧： データなし
- 比重： 2.09g/cm³
- 溶解性： 水に可溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性： 安定。
- 危険有害反応可能性： 水溶液はアルカリ性の反応をする。水溶液は金属類と反応する。アルミニウムを腐食する。酸と反応する。酸化剤と反応して発熱する。軽合金と反応して水素を発生する。
- 避けるべき条件： 湿気
- 混触危険物質： 有機物、アルミニウム、亜鉛
- 危険有害な分解生成物： 塩化水素（HCl）、酸化カリウム、酸化リチウム

11. 有害性情報

- 製剤についてのデータは無い。

急性毒性：	水酸化リチウムについて 経口 ラット LD50=210mg/kg 吸入 ラット LC50=0.96mg/L/4hr
皮膚腐食性・刺激性：	水酸化リチウムについて 本物質水溶液の pH が約 12 (50°C、50g/L) (GESTIS(Access on Sep.2009)) と強力なアルカリ性物質であり、腐食性が極めて高く、皮膚が刺激を受けるとの記述がある (産業衛生学会提案理由書(1995))。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	水酸化リチウムについて 本物質水溶液の pH が約 12 (50°C、50g/L) (GESTIS(Access on Sep.2009)) と強力なアルカリ性物質であり、腐食性が極めて高く、皮膚が刺激を受けるとの記述がある (産業衛生学会提案理由書(1995))。
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	水酸化リチウムについて 本物質のデータはないが、リチウムを治療目的で摂取していた 226 名の妊婦に 25 名の先天性奇形を生じた。妊娠の可能性のある女性に対してリチウムは禁忌になっている (ACGIH(2001))。またリチウムは”Chemically Induced Birth Defect” (Birth Defects 3rd(2000)) で催奇形性物質としてあげられており、”Catalog Teratogenic Agents” (Teratogenesis 12th(2007)) でもリチウム服用の妊婦において心臓奇形の出産報告が複数あり、ヒトに対する催奇形性が示唆されている。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)：	水酸化リチウムについて 本物質は強力なアルカリ性を有し、腐食性が極めて高く、飛沫や蒸気により上気道および口腔の粘膜を刺激すると述べられている。事実ラットに 960mg/m ³ /4h を吸入曝露 (粉塵) した試験で咽頭や花の壊死性炎症が認められた (産業衛生学会提案理由書(1995))。

1 2. 環境影響情報

生態毒性：	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	水に溶解して希薄な水溶液とし、酸 (希塩酸、希硫酸など) で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。 廃棄前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：	8 (腐食性物質)
国連番号：	2680
品名：	LITHIUM HYDROXIDE, mixture
容器等級：	II
海洋汚染物質：	非該当

注意事項： 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法： 劇物（水酸化リチウム）
化学物質管理促進法： 非該当
労働安全衛生法： 施行令 18 条名称等を表示すべき有害物
施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物(No.320 水酸化リチウム)
船舶安全法（危規則）： 腐食性物質（水酸化リチウム）
航空法： 腐食性物質（水酸化リチウム）
港則法： 腐食性物質（水酸化リチウム）

16. その他の情報

引用文献

Lovibond Manganese LR 2 (Cat.No.00516091,(4)516090(BT),(4)516091(BT),516093(0),
00516099) 2016.03.02
13901 の化学商品 化学工業日報社
化学物質安全情報 研究会編 オーム社
化学大辞典 東京化学同人
関東化学株式会社 製品安全データシート（水酸化リチウム）
和光純薬工業株式会社 製品安全データシート（水酸化リチウム）
安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。